

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年5月27日(2021.5.27)

【公表番号】特表2020-525089(P2020-525089A)

【公表日】令和2年8月27日(2020.8.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-034

【出願番号】特願2019-570127(P2019-570127)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/25 (2021.01)

A 6 1 B 5/256 (2021.01)

【F I】

A 6 1 B 5/04 3 0 0 N

A 6 1 B 5/04 3 0 0 M

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月13日(2021.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザの皮膚に接触する電極から電気活動測定信号を取得するシステムであって、前記ユーザの一部の周囲に少なくとも部分的に配置される支持部と、

前記電極に動作可能に結合されるアクチュエータであって、前記電極が異なる場所で前記皮膚に接触することを可能にするため、前記電極を少なくとも横方向に動かす、アクチュエータと、

前記電極及び前記アクチュエータに動作可能に接続され、前記電極からインピーダンス信号を取得し、前記得られたインピーダンス信号に基づき、前記電極を移動するべく、前記アクチュエータを作動させるようプログラムされるプロセッサとを有し、

前記電極が、バネ構造を介して前記支持部に接続され、前記バネ構造が、ユーザにおける前記電極の十分な接触圧力を提供し、前記支持部に対する前記電極の少なくとも横方向における動きの分離を可能にし、

前記アクチュエータが、バネを使用して前記電極に接続され、前記アクチュエータは、引き込むことにより前記電極を前記横方向に移動させ、これにより、前記バネが引かれ前記電極が再配置される、

システム。

【請求項2】

前記バネ構造が、前記電極の一定の軸方向の力が前記ユーザに加えられることを可能にし、前記横方向における所定のバネ剛性を提供する、請求項1のシステム。